

懐かしい絶景 後世に

日本の原風景ともいえる棚田。中山間地域の暮らしを支え、美しく雄大な景観は地元の宝として大切に守り継がれてきた。海とのコントラストが印象的な浜野浦（佐賀県玄海町）と、潜伏キリシタンの里として歴史を刻む春日集落（長崎県平戸市）の棚田を訪ねた。

各地の主な棚田

棚田名	所在地	特徴
東後畑の棚田	山口県長門市	日本海に面し、夏場はイカ釣り船のいさり火が幻想的
つづら棚田	福岡県うきは市	あぜ道に咲く赤い彼岸花と、黄金色の稲穂が対照的
扇棚田	熊本県産山村	扇状に広がる地形を利用。水田は水源から水を引いている
石垣の村	宮崎県日之影町	石垣が高く積み、最大で約11段に及ぶ

平地と比べて生産条件が厳しく、農家の後継者不足などを背景に耕作放棄が進むところも多い。一方で、各地で保全を図る動きも活発になっている。農林水産省は1999年、保全活動推進の一環として、全国の主要な棚田を「日本の棚田百選」に認定した。

棚田

対決



お国自慢

佐賀県
玄海町

長崎県平戸市



夕日照らす「恋人の聖地」

玄界灘に沈む夕日が棚田を照らす。収穫が済んだこの時期は少し寂しいが、5月の田植え前後、田んぼの水面がオレンジ色に染まる光景は格別だ。「何百年も続いた風景が

玄界灘に沈む夕日に照らされる浜野浦の棚田（佐賀県玄海町で）

潜伏キリシタンらが守り継いできた春日集落の棚田（長崎県平戸市で）

春日集落の棚田	水田の数	浜野浦の棚田
約420枚	約280枚	
約20%	約12%	
1885人 (今年8月)	観光客数	3827人 (今年大型連休)

(自治体などへの取材による)

浜野浦 佐賀・玄海



2007

目の前になると思うと、誇らしい気持ちになるし、とても癒やされます。玄海町の魅力を発信する町地域振興会の青木一里さん(46)「写真」が語る。戦国時代から脈々と受け継がれてきたといい、石垣は豊臣秀吉が築いた名護屋城（佐賀県唐津市）の石工

ただ、後継者不足などで作付面積は往時の3分の1ほどになった。危機感を募らせた町は17年、県内で初

春日集落 長崎・平戸



にわたって幾重にも重なる棚田は、潜伏キリシタンらが400年以上前から開墾し、代々守り継いできた。「すごいでしょう。これだけ当時の姿のまま残っている棚田は珍しいですよ」。

安満岳から流れ込む小川が恵みをもたらす。堅く積み上げられた石垣の一部は、高い技術力に定評があった対岸の生月島の職人が手がけたとされる。2010年には県内で初めて国の重要文化的景観に選ばれた。

集落総代で、まちおこし団体の会長も務める寺田一男さん(68)「写真」が笑った。

昨年11月、平戸市の関係者らがパチカンを訪れ、収穫された「春日の棚田米」をローマ法王に献上。法王から市に謝意を伝える手紙

潜伏信徒 苦難乗り越え

が届く「大集」の拠点集落内外に、現在も管理が苦しかったと必き